

## 令和2年度 さいたま市立第二東中学校 学校関係者評価書

さいたま市立第二東中学校  
学校関係者評価委員長 原田 守康

### 1 学校関係者評価の実施体制

#### (1) 構成人数

10人

#### (2) 実施回数

3回

### 2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- 学校評価保護者アンケートは、全般的に肯定的な回答が多い。特に、「決まりを守っている」や「遅刻をしていない」という回答が高いことから、生徒が規律ある生活を送れていることが見てとれる。また、保護者は、学校が相談にのってくれると感じていることから、学校長を中心に、保護者からの相談に組織的に取り組んでいると思われる。一方、生徒は、地域の活動に参加していると回答している割合が低い。今後は、その部分に関しても、公民館や地域自治会が協力して、取り組んでいきたい。
- 青少年育成標語の作成に感謝している。素晴らしい作品が多かった。各学年の入選作品を掲示して頂きたい。
- レッツ・ジョイン・クリーン活動では、参加校の中でも、ゴミが非常に多く集まった。本校の生徒が、積極的に取り組んだ成果である。
- 正門前の通りが暗い件について、大宮区のくらし応援室等に相談し、既に見てもらっている。年度内の対応は、予算の関係で難しいが、年度明け早々に対応してもらえよう掛け合っている。
- 本年度は、合同音楽会や地域懇談会の中止で、地域の子どもの様子が分からなかった。来年度は、ぜひできる事を増やしていきたい。
- 中学校3年生は、今年1年間、本当に何もできていない。せめて、卒業に向けて、感動できることをやらせてあげてほしい。
- 本校の生徒は、あいさつのできる活発な子が多い。
- 学校評価アンケートを見ると、部活動に関する項目の肯定的な回答が高い。中学校3年生でも、学総体ができなかったが、肯定的な回答が高い。子どもたちは、コロナに負けてばかりではなく、家でできる事をやったり、自分のやりたいことを見つけようとしたり夢や未来を捨てておらず、子どもはたくましいと感じた。
- 今やっている「入学前事前相談」について、保護者のニーズに応える有難い取組だと思う。
- 今年度を振り返ると、自治会としても学校とかかわりがなかった。今後は、自治会がどのように学校に関わっていけるかを考えていく必要がある。
- 子どもが持って帰ってきた保健委員会のアンケートを見て驚いた。中学校1年生の男子の朝食を食べてない割合と歯を磨いていない割合が高かった。保護者としても、考える必要があると思った。
- 今年度は、保護者は学校の様子が分からないことが多く、学校評価アンケートも答えにくかった。問題が起こった時は、担任から連絡が来るが、学校からの情報発信は多くなかったと感じる。学校ホームページなどで、より積極的に情報を発信して欲しい。

### 学校関係者評価を受けた学校の対応

- 今年度は、コロナ対応等大変な中、本校の教育活動に多大なるご支援ご協力を頂いたことに改めて感謝するとともに、本校の教育活動を多方面から評価して頂いたのも、それを学校内で共有し、今後の学校運営の参考とさせていただきます。
- 中学生の頑張りを、小学校や地域の方から肯定的にご評価いただけたので、これからも「輝く笑顔 二東生」の育成と、小・中一貫教育の充実と推進に努めていく。
- 学校ホームページの充実が図れるよう、校内の体制を見直し、より本校の教育活動が家庭・地域にご理解いただけるよう、情報発信に努めていく。
- 今後は、さらに家庭・地域との連携を深めて、協働して生徒を育てられるよう、「コミュニティ・スクール」の準備を進めながら、体制を整えていきたい。

さいたま市立第二東中学校長

春山 悟

